

中央病院のトピックス

平成24年10月18日
中央病院

～ 目次 ～

1 人材の確保・育成 P.1	7 医療安全の推進 P.3
2 救急医療機能の向上 P.2	8 療養環境の改善 P.3
3 がん診療機能の充実 P.2	9 未収金対策 P.4
4 周産期母子医療の充実 P.2	10 委託業務等の見直し P.4
5 脳血管診療機能の充実 P.2	11 大規模災害への備え P.4
6 地域連携の推進 P.3	

1 人材の確保・育成

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等																											
①専攻医の定着を図るため、引き続き専攻医を正職員として採用した。(継続) 《改革プラン…P.27》	・専攻医の確保 8人(H23.4) → 8人(H24.4)	・医師及び看護師等の人材を確保することが必要。(特に救急専門医の確保)																											
②臨床研修医の確保に努めた。(継続) 《改革プラン…P.27》	・臨床研修医の確保 (H22年度から3年連続フルマッチ) 1年次 … 11人(H23.4) → 10人(H24.4) 2年次 … 9人(H23.4) → 10人(H24.4) 〔うち公募研修医〕 1年次 … 8人(H23.4) → 7人(H24.4) 2年次 … 8人(H23.4) → 7人(H24.4) 〔うち自治医大研修医〕 1年次 … 3人(H23.4) → 3人(H24.4) 2年次 … 1人(H23.4) → 3人(H24.4)																												
③緩和ケア及びがん化学療法の認定看護師の資格を取得した。(H23.7) 《改革プラン…P.25》	・認定看護師の取得状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>認定分野</th> <th>取得</th> <th>配置先等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急看護</td> <td>H18.7</td> <td>救急外来</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>H18.7</td> <td>医療安全・感染防止対策室</td> </tr> <tr> <td>不妊症看護</td> <td>H19.7</td> <td>産婦人科病棟</td> </tr> <tr> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>H20.7</td> <td>看護局</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>H22.7</td> <td>3西病棟(ICU)</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>H22.7</td> <td>N I C U</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>H23.7</td> <td>5西病棟</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法</td> <td>H23.7</td> <td>外来治療室</td> </tr> </tbody> </table>	認定分野	取得	配置先等	救急看護	H18.7	救急外来	感染管理	H18.7	医療安全・感染防止対策室	不妊症看護	H19.7	産婦人科病棟	皮膚排泄ケア	H20.7	看護局	集中ケア	H22.7	3西病棟(ICU)	新生児集中ケア	H22.7	N I C U	緩和ケア	H23.7	5西病棟	がん化学療法	H23.7	外来治療室	
認定分野	取得	配置先等																											
救急看護	H18.7	救急外来																											
感染管理	H18.7	医療安全・感染防止対策室																											
不妊症看護	H19.7	産婦人科病棟																											
皮膚排泄ケア	H20.7	看護局																											
集中ケア	H22.7	3西病棟(ICU)																											
新生児集中ケア	H22.7	N I C U																											
緩和ケア	H23.7	5西病棟																											
がん化学療法	H23.7	外来治療室																											
④職員が安心して仕事と子育てを両立できる勤務環境を整備するため、院内保育所の開設に着手した。(H24) 《改革プラン…P.29》	H25年1月開所に向け、現在準備中。 ・定員：通常保育 15名 病児病後児保育 4名 ・病児・病後児保育室の利用者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>94人</td> <td>169人</td> <td>208人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	延べ利用者数	94人	169人	208人																				
区分	H21	H22	H23																										
延べ利用者数	94人	169人	208人																										
⑤JICA(独立行政法人国際協力機構)草の根技術協力事業の一環として、モンゴルの産婦人科医師及び助産師に対し、周産期から新生児医療に関する知識・技術を提供した。(H22～H24) 《改革プラン…P.26》	[産婦人科医師・助産師のモンゴル派遣] 目的：現地の医療水準の把握や妊娠高血圧症候群の診断・治療の講義等 〔モンゴル研修生の受入〕 目的：妊娠高血圧症候群の病態・診断・治療に係る基礎的知識の習得や、胎児超音波診断の基礎的技術の習得等	当事業はH24年度で終了																											

2 救急医療機能(二次救急、三次救急)の向上

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等									
①救急救命センターの機能向上に着手した。(H23~H25) ※当事業は県地域医療再生計画に位置付けられている。 《改革プラン…P. 7、P. 8》	外部からの救急患者及び院内で重篤化した患者の受入体制を拡充するため、H25年度までに施設改修及び機器整備を行う。 ・現在3階にある救命救急センターを、1階(救命救急センター部門)と3階(ICU・HCU部門)とに機能分担する。 ・当事業にて、CT64列を導入した。(H24.8稼働)	・救急専門医を確保することが必要(再掲)。 ・休日・夜間の初期救急診療所の役割分担をさらに明確にし、救急医療機能を十分に発揮することが必要。									
②ドクターヘリの受入を行った。(H22.4~)	・ドクターヘリの運行状況(搬送件数)										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 体</td> <td>847件</td> <td>1,254件</td> </tr> <tr> <td>うち中央病院</td> <td>61件</td> <td>82件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H22	H23	全 体	847件	1,254件	うち中央病院	61件	82件	
区分	H22	H23									
全 体	847件	1,254件									
うち中央病院	61件	82件									
③がん治療、緊急状態(大出血)の救命、血管閉塞・動脈瘤治療等に有効なIVR-CTを導入する。(H24.9補正予算要求) 《改革プラン…P. 8》	IVR-CTの導入により、救急医療分野では、主に緊急状態(大出血)からの救命機能の向上を図る(H24年度中の導入予定)。										

3 がん診療機能の充実

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等
①血液がん患者の療養環境改善を図るため、無菌病室を整備(増設)した。(H24.7完成) 《改革プラン…P. 14》	既存の無菌病室3室(個室3室)に加え、新たに2室(4床2室)を整備した。	・地域がん診療拠点病院として、他の医療機関との連携強化を図ることが必要。
②5大がんに係る地域連携パスの運用に向け関係機関と調整を図り、H24年4月に運用を開始した。 《改革プラン…P. 18》	5大がん地域連携パスの運用により、患者へのより適切な治療と医療機関の機能分担の推進が図られる。	
③がん治療、緊急状態(大出血)の救命、血管閉塞・動脈瘤治療等に有効なIVR-CTを導入する。(H24.9補正予算要求) [再掲] 《改革プラン…P. 8》	IVR-CTの導入により、がん診療分野では、外科的手術困難な高齢者や状態の悪い進行がんの治療機能の向上を図る(H24年度中の導入予定)。	
④がん治療等に関する市民講座を開催した。(H24.8(乳がん関係)) 《改革プラン…P. 20》	地域住民を対象に、がん治療や不安の解決方法、相談窓口などについて情報提供を行う。	年内に第2回目を開催する予定。

4 周産期母子医療の充実

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等
①NICU及び分娩室の機能向上に着手した。(H23~H24) ※当事業は県地域医療再生計画に位置付けられている。 《改革プラン…P. 13》	低出生体重児などの重篤患者の増加等に対応するため、H24年度までに施設改修及び機器整備を行う。 ・恒常的に満床状態のNICUを拡張 ・分娩室を改修 等	

5 脳血管診療機能の充実

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等
①脳卒中等の診療機能向上を図るため、MRIを導入する。(H24.9補正予算要求) 《改革プラン…P. 8》	既存のMRI(1.5テスラ)1台に加え、新たに1台(3テスラ)を導入することにより、脳卒中・脳腫瘍等の診療機能の向上及び長期間検査待ちの状況の改善を図る。	・地域がん診療拠点病院として、他の医療機関との連携強化を図ることが必要。
②がん治療、緊急状態(大出血)の救命、血管閉塞・動脈瘤治療等に有効なIVR-CTを導入する。(H24.9補正予算要求) [再掲] 《改革プラン…P. 8》	IVR-CTの導入により、脳血管診療分野では、脳動脈瘤等の治療機能の向上を図る(H24年度中の導入予定)。	

6 地域連携の推進

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等												
① H23年4月からMSWの正職員を1名増員の4名体制とし、医療・福祉相談や退院支援の機能強化を図った。 《改革プラン…P. 20》	・ 紹介率、逆紹介率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>58.8%</td> <td>57.8%</td> <td>59.5%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>102.9%</td> <td>105.2%</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	紹介率	58.8%	57.8%	59.5%	逆紹介率	102.9%	105.2%	98.6%	・ 各医療機関の機能分化を推進することが必要。
区分	H21	H22	H23											
紹介率	58.8%	57.8%	59.5%											
逆紹介率	102.9%	105.2%	98.6%											
② 5大がんに係る地域連携バスの運用に向け関係機関と調整を図り、H24年4月に運用を開始した。〔再掲〕 《改革プラン…P. 18》	5大がん地域連携バスの運用により、患者へのより適切な治療と医療機関の機能分担の推進が図られる。〔再掲〕 ・ 地域連携バスの運用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳卒中</td> <td>69件</td> <td>89件</td> <td>141件</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>22件</td> <td>26件</td> <td>34件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	脳卒中	69件	89件	141件	大腿骨頸部骨折	22件	26件	34件	
区分	H21	H22	H23											
脳卒中	69件	89件	141件											
大腿骨頸部骨折	22件	26件	34件											

7 医療安全の推進

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等																				
① 従来2人夜勤体制だった一部の病棟において、3人夜勤体制とした。(H23～) 《改革プラン…P. 9》	全ての病棟において3人以上の夜勤体制となり、看護師の負担軽減と医療安全の向上を図った。	・ 3人夜勤看護体制の維持等により、医療安全の更なる向上を図ることが必要。																				
② インシデント・アクシデント報告手続きを簡素化し、より適正に報告できる環境を整備した。(H23～)	・ インシデント・アクシデントレポート数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヒヤリ・ハット</td> <td>174</td> <td>204</td> <td>271</td> </tr> <tr> <td>レベル1～2</td> <td>1,180</td> <td>1,544</td> <td>1,532</td> </tr> <tr> <td>レベル3～5</td> <td>45</td> <td>41</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,399</td> <td>1,789</td> <td>1,843</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	ヒヤリ・ハット	174	204	271	レベル1～2	1,180	1,544	1,532	レベル3～5	45	41	40	計	1,399	1,789	1,843	
区分	H21	H22	H23																			
ヒヤリ・ハット	174	204	271																			
レベル1～2	1,180	1,544	1,532																			
レベル3～5	45	41	40																			
計	1,399	1,789	1,843																			

8 療養環境の改善

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等
① 図書室を開設した。(H23. 6～)	図書室の開設により、患者が病気や医療に関する様々な情報を収集できるようになった。 ・ 貸出冊数 (H23. 7～H24. 3) 入院患者：561冊 外来患者：46冊 計：607冊	
② 敷地内禁煙を開始した。(H23. 4～)	敷地内禁煙の実施により、肺がんをはじめ様々な疾病のリスクの低減を図る。	・ 敷地内禁煙実施後も院内で喫煙する者が散見されることから、更なる敷地内禁煙の徹底が必要。
③ 医療に関する情報を県民へ発信するため、ケーブルテレビ局と連携して医療(健康)番組の放映を開始した。(H24. 4～) 《改革プラン…P. 20》	[番組タイトル] 「知ってなっ得！」～医療の現場からホットな情報をお届けします～ [放映局、制作・著作] 日本海ケーブルネットワーク [放映日] 毎週月～金(1日3回)	
④ 耐震性の向上を図るため、本館耐震補強工事を実施した。(H23. 5完成)	耐震性向上により、患者が安心して医療を受けられるとともに、医療を提供する側も安心して医療に専念することができる。	・ 建物の狭隘・老朽化への対応として、中～長期的な視点で建て替えの検討が必要。

9 未収金対策

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等
①当院や銀行の窓口での支払いが困難な県外在住患者等の支払いを促進するため、コンビニエンスストア収納制度を導入した。(H24.1~)	・コンビニエンスストア収納制度導入や預り金徴収開始により、新たな未収金発生の抑制を図る。	・新たな未収金発生の抑制と回収の強化を図ることが必要。
②時間外・休日受診の小児・ひとり親家庭の患者（特別医療費助成対象者）から自己負担上限額である530円の預り金徴収を開始した。(H24.4~)		

10 委託業務等の見直し

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等
①現在のSPDによる薬品・診療材料等の調達業務に係る契約がH24年度末で終了することから、H25年度以降の新たなSPD契約業者を総合評価競争入札方式により選定する予定。(H24年度中に契約締結予定) 《改革プラン…P.32》	・総合評価入札方式による業者選定により、H25年度以降の業務運営の更なる円滑化・効率化及び経費節減を図る。	
②医事会計等業務及び外来クランク業務については、従来から同一業者に随意契約で委託していたが、H25年度からの委託業者については総合評価入札方式により選定する予定。(H24年度中に契約締結予定)		

11 大規模災害への備え

主な取組状況	成果・実績等	今後の取組・課題等
①耐震補強工事を実施した。(H23.5完成) 〔再掲〕	耐震性向上により、患者が安心して医療を受けられるとともに、医療を提供する側も安心して医療に専念することができる。	・建物の狭隘・老朽化への対応として、中～長期的な視点で建て替えの検討が必要。
②従来、同一棟の2箇所にて保管していた電子カルテのバックアップデータのうち一方を別棟に保管するよう変更した。(H24.1~)	バックアップデータの保管場所を分散させることにより、火災等で全てのデータが同時に消失するリスクの軽減を図った。	
③現在地下1階及び屋外2階に設置している非常用電源設備に加え、新たに3階屋上に非常用電源設備を追加整備に着手した。(H24)	新たに本館3階屋上に非常用電源設備を追加整備することにより、現在地階に設置している電源設備が河川氾濫による浸水により故障した場合であっても電源確保が可能な状態とする(H24年度中の完成予定)。	
④災害時におけるDMAT隊の活動機能を向上させるため、DMAT専用車両を導入する。(H24) ※当事業は県地域医療再生計画に位置付けられている。 《改革プラン…P.16》	DMATが現地において情報収集、他DMAT隊との連携、休息等を行う機能を有した車両を整備する(H24.10導入予定)。	